

記念館だより

2021年6月号

「おふくろの味」

加藤 輝勢子

1993年10月にボランティアグループ「コスモス会」が誕生してからまもなく30年になります。「コスモス会」は一人暮らしの高齢者のための配食サービスをしており、調理ボランティアによる季節に応じた手作りお弁当を、配達して届けてくださる配達ボランティアの方で成り立っています。毎週土曜日のお昼に提供しております。

創立当初のことは『賀川豊彦研究』第60号で故鶴澤匡子氏が前史を含めて書かれています。最初は関東大震災の救援活動の中から生まれたそうです。家政専修学校の生徒たちが料理実習で作った食事を光の園保育学校の園児たちに提供したところ、大変好評で、保護者にも提供してほしいということになり、江東消費組合の事業の一つになりました。この活動は戦時下の統制経済で食材の調達が困難になるまで続いたそうです。

それから、1969年にこの建物が建ち、戦前の共同配食を担っていた宮原良平氏たち有志が、江東区を中心に共同配食をしているので、月2回無料で食事を提供して下さることになり、記念館の働きの一つとして地域の独り暮らしお年寄りにお弁当を届けることが始まりました。10食くらい届けていたそうです。

宮原さんからの提供は10年ほど続きました。その後、東駒形教会の婦人会の有志の方で続けられたようですが、すべて持ち寄りのご奉仕だったようです。また、保育園のふれあい食事会「ぶどうの会」が月2回程度、お年寄りを食事に招いていたそうです。

1993年に墨田区の老人（現・高齢者）福祉課から配食サービスの相談を持ち掛けられ、在園児の保護者がボランティアの中心になって始まったそうです。その時から人は変われど、志は変わらず、現在も続いています。

現在のコスモス会は調理グループが4つあり、毎週いろいろな味が楽しめるようになっています。季節感はもとより、食べやすいように切ったり、味付け、盛り付けを工夫しています。そのお弁当を温かいまま届けたいと配達ボランティアの方々が丁寧に届けています。何よりもお弁当を待っていてくれる人たちがいることが嬉しいですし、喜んで食べてくださることが嬉しいと聞いています。最近コンビニがあり、スーパーでもお弁当はおいてあります。しかし、何度食べても飽きの来ないコスモス会のお弁当はまさしくおふくろの味ですね。料理に興味のある方、一緒にボランティアしてみませんか。

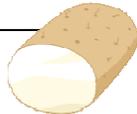
本所賀川記念館児童クラブ（児童厚生施設） 2021年6月1日（火）発行

〒130-0005 東京都墨田区東駒形 4-6-2 （一財）本所賀川記念館 TEL03-3622-7811

学童クラブ

月に一度、水曜日にビデオシアターを行っています。5月は19日に「ピーターパン」を上映しました。今までごっこ遊びの中で“ネバーランド”や“ティンカーベル”と職員が口にしても何も分からずポカンとしていた学童クラブのみんなでしたが、これでばっちりピーターパンについて知ることができました。手作りの帽子を手に取り嬉しそうに交互に被って写真撮影をしていました。

学童クラブではこれまでオセロ盤を使って五目並べをしていました。しかし、オセロ盤では限りがあるため、より大きな五目並べ用の盤を手作りしました。みんな興味を持って集まって来ました。遊びの中で人とのかかわり方を学んだり、新たな遊びを考え、展開したりと子どもたちは遊びを通して日々成長しています。(柳田)



コスモス会

コロナワクチンを接種して来ました。

「ブス」と差す外国に比べると日本はやさしいです。普通の注射より痛くないです。腕がちよっとかっただけで、朝には殆ど大丈夫になりました。

早く皆が接種できると良いですね。楽しいことが待っていると信じて、マスク・手洗い・うがいを守りましょう。

〈おすすめレシピ〉

長芋を4cm位の長さの短冊切りにして、唐揚げ粉を水で溶いて入れ油でサッと揚げるだけ。シャキシャキしてとても美味しいですヨ。試してみてください。(高橋)

記念館トピック

【賀川研究会】

『四十年の恵み～本所基督教産業青年会・日本基督教団東駒形教会四十年史』を読み終えて、「セツルメント」について学びます。

6/24(木) 19:00～

本所賀川記念館3F ホール

※ 新型コロナウイルスの拡大状況によっては延期となる場合があります。

美術教室

第2～4週水曜日 15:00～17:00

講師：亀田谷亜礼先生

子どもたちの作品は3階の階段で見ることができます。



ピアノ教室

毎週月曜日

講師：土屋 紘枝先生

保育園から小学校高学年のお友だちまで、のびのびピアノの音色と音楽を楽しんでいます♪

